

昭和50年10月16日 第三種郵便物認可 (1)

79年7月には三木記念会のご好意により神戸市立スポーツ会館が完成し、兵庫県神戸市両サッカー協会がここに事務所を開設することができました。この神戸市立スポーツ会館を拠点として少年サッカー育成のためのトレーニングセンターや各種の研修、講習をどしどし開催し、積極的な施策を打ち出した。

全国大会出場の意地見せるか——東灘御影工——実力ではナンバー・ワン

高校新人神戸市大会組み合わせ決まる

兵庫県高等学校新人戦神戸市大会は、28校が参加し1月12日から27日にかけて戦われる。組合せは、まずA～H組に分けて3～4校のリーグ戦をし各組の1位と2位が決勝トーナメントに出場し、上位7チームまでが県大会に出場できる。各出場校とも、その会場校に迷惑をかけないように注意してもらいたい。

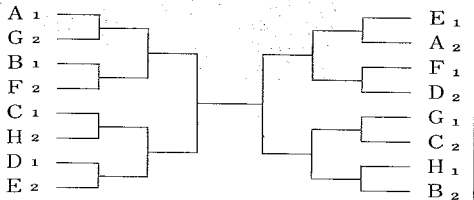
A組 御影工、兵庫、兵庫商、B組 六甲育英、夢野台、C組 市神戸工、神戸西、市神港、D組 北須磨、伊川谷、村野工、E組 東灘、長田、甲北、鈴蘭台、F組 兵庫工、滝川、星陵、葺合、G組 御影、須磨、赤塚

山、舞子、H組 神戸、私神港、灘、神戸北。12日(六甲)④御工―兵庫 ⑥六甲―育英(北須磨)④神戸西―市神港 ⑥伊川谷―村野工(東灘)④東灘―甲北 ⑥長田―鈴蘭台(兵庫工)④兵庫工―滝川 ⑥神戸―灘(星陵)④星陵―御影 ⑥舞子―須磨(赤塚山)④赤塚山―御影 ⑥私神港―神戸北

13日(六甲)④御工―兵庫 ②神戸―神戸北③③育英―夢野台 ④灘―私神港(兵庫工)④兵庫工―星陵 ②市工―市神港 ③滝川―葺合 ④舞子―御影(北須磨)①伊川谷―北須磨 ②甲北―鈴蘭台 ③赤塚山―須磨 ④

東灘―長田
15日(兵庫工)①兵庫工―葺合 ②市工―神戸西 ③滝川―星陵 ④兵庫―兵庫商(六甲)①六甲―夢野台 ②灘―神戸北 ③赤塚山―舞子 ④神戸―私神港(北須磨)①御影―須磨 ②東灘―鈴蘭台 ③北順磨―村野工 ④長田―甲北
(注)()内は会場校 ④13:30 ⑥15:00 ①10:00 ②11:30 ③13:00 ④14:30
キック・オフを示す。
決勝トーナメントは、20日、26日、27日の3日間。北須磨、六甲、東灘(1～2回戦)で、決勝、準決、5、6、7、8位は兵庫工で行います。

決勝トーナメント組合せ



私は実際少年のチームについている訳ではないのでこの経験を直接急には生かせないが神戸FCのサッカースクールで月2回女子組を担当している。そこで、今後どのようなことを教えておけば将来伸びていくのか、そしてそれ以前の問題としてサッカーを愛し大事にしていってくれるのかということに役に立ててゆきたいと思う。最後に、今回の受講者の中で女性は4名だったが、これからもっとたくさんの人がこの様な講習に参加して、サッカーというスポーツが女性でも充分やっていけるものであるという事を理解して欲しい。

スポーツ精神を再確認

ひよどり台 杉本典子

我家は、長男がサッカーを次男が野球をしています。私も野球が好きで自然とルールも覚えキャッチボールをしたり、ソフトボールチームに参加して楽しんでます。それに比べるとサッカーは、手を使わないで足だけの高度の技術を要求されるスポーツという知識だけしか持ち合せていません。

今年からひよどり名サッカークラブのお世話をする様になり試合を見る回数が増え、機会があれば子供達に夢中にさせているサッカーを少しでも理解し、クラブのお役に立ちたいと思っていた矢先に当講習会のお話を伺ったのです。まったくの素人の私です不安も心細さも抱いての受講でした。

実技指導は思ったより難しく、練習の積み重ねの大切さを痛感し、開講して下さった先生や現在子供達に、又、これから指導にたずさわる為に勤務を終えてからという条件のもとで勉強されている受講生の努力に対して頭の下がる思いが一杯で家でも復習のつもりで練習に励んで頑張りましたが、素人の私です。バツゲームを受ける回数が多かったのも当然のことと思いました。試合の見方も以前とは違い勝敗で一喜一憂することなく、個人個人のプレー、チームワークやゲーム展開にも目をむけられるようになり、マークをしっかりとか声を出し合ってボールを回した方がよいのではと巾広く見て楽しむことが出来ます。又、夏のワールドユース神戸大会ですぐれたプレーをじかに見るのが出来た事も手伝って、サッカーのすばらしさスポーツの大切さも再確認しました。家庭にとり込みが私の私は外の違った空気を吸うだけでも勉強になります。この機会に子供達に初歩的な指導のお手伝い出来ればと張り切っております。

最後に指導して下さいました諸先生はじめ勇気づけて下さった受講生の皆様にお礼を申し上げます。ありがとうございます。

女性少年指導者4人誕生

—— 昭和54年度神戸市少年指導者講習会 ——

昭和54年度神戸市少年指導者講習会は5月22日から36人の受講生を得てスタートした。前期6回、後期は9月18日から6回、毎週火曜日、6時半から9時まで御影工高、磯上サッカー会館を利用し、講師の黒田和生、加藤寛、岡後彦の指導のもと実技に講義にきびしく、楽しく学んだ。そして10月28日には御崎少年サッカー場で指導実習のテストを行った。指導実習とは2人1組になり与えられたテーマのもとに実際に子供達を指導するもので、市選抜少年達を前にやや緊張気味ながら見事な示範も見せ各組とも充実の15分間だった。結果は下記のとおり新たに21人の公認指導者が誕生した。今年の特長は少年チームの父母の参加が多くかつ初めてボールをける人も多かったが文字どおり練習の積み重ねで講習会も終る頃にはみちがえるほどの進歩をみせた。そして市初めての女性公認指導者が一気に4人誕生した。前田、清水さんは神戸FCのレディースで活躍中、田村さんは高倉中学で家庭科の教鞭をとりながら同中学女子部の指導にあたっている。松本さんは小学校5年生の息子さんがひよどり台小で活躍している主婦。もちろんサッカーは初経験だが夜間の講習会に全出席の皆勤は立派だった。

閉講式では一北理事長も「講習会で学んだことを生かして所属チームでの今後の活躍を期待したい。」とはげましていた。

公認指導者氏名 (カッコ内は所属チーム)

1. 秋馬 勝 (多井畑)
2. 東 祥一郎 (ビートルズ)
3. 阿部 精二 (和田岬)
4. 一北保五郎 (川鉄建材)
5. 植田 晋也 (ひよどり台)
6. 大黒 一弘 (ひよどり台)
7. 大前 満夫 (ひよどり台)
8. 河口 秀樹 (神陵台)
9. 窪 国忠 (ひよどり台)
10. 河野 龍 (多井畑)
11. 清水 万帆 (神戸FC)
12. 瀬尾 嘉秀 (甲山FC)
13. 田村 玲子 (高倉中)
14. 竹石 昌之 (川鉄建材)
15. 西田 仁司 (和田岬)
16. 星 芳行 (ビートルズ)
17. 富士 信男 (神戸FC)
18. 前田 博子 (神戸FC)
19. 松井 宏貴 (ひよどり台)
20. 松田 俊二 (ビートルズ)
21. 松本 典子 (ひよどり台)

◇講義 (数字は単位)
少年サッカー育成について (1) 発育発達

論 (1) 競技規則 (2) コーチング法 (3) 心理学 (1) 戦術と作戦 (2) 救急法 (1) ◇指導実習のテーマ

秋馬、河野：ボール運動 (すばしこさを養う)
植田、松本：ボール運動 (リズム感を養う)
星、東：ボールコントロール―フェイント
大黒：パス―インサイドキック
窪：ボールコントロール (腰より高くはすむボール)

瀬尾、松田：ヘディング
竹石、一北：ボレーキック
富士、宮本：1対1 (ボールキープ)
阿部、西田：2人で攻めよう
河口、大前：2人で守ろう
清水、前田：1対1―シュート
田村：パス―壁パス
松井：タックル

情熱をもって

神戸FC 前田博子

指導者講習というものがあるというのは去年から知っていたのだが、どういう人達が受講しているのかよく知らず遠い話のように感じていた。それがなぜ私も参加する事になったかという、同じチームの友達を受けていると聞きその上サッカーのことを少しでもよく知りたいと思っていたことも重ねあわさって遅ればせながら6月の半ばから参加させてもらうこととなった。

参加してみると、さすがに指導者と名がつくだけに年上の人ばかりで中にはかなりの年輩の方もおられて驚かされた。その上私達学生と違い仕事を終えられてから夜の遅くからの講習に参加されるサッカーに対する情熱には圧倒される思いだった。

2時間余りの講習は初めの30分が講義で、1時間半、実技が行われるのだが、サッカーだけでなくその前の準備運動やボールを使って遊んだりすることがいろいろあってとても楽しかった。又、一対一や二対一という戦術的な練習は普段の自分達の練習にも基本に戻ってという意味で非常にプラスになると思う。講義の中ではサッカーの歴史などもあり、サッカーを知るといふ当初の目標は達せられた訳だが、救急法なども日頃自分にも使えることだけに興味深かった。又、講師が一人ではなくそれぞれの人の持ち味がでていてそういう点でも楽しかった。

兵庫教員団初優勝の夢成らず

全国社会人サッカー大会

第15回全国社会人大会は栃木県矢板市で11月23日から開催され、兵庫から前回準優勝の兵庫教員団と、出場3回目の三菱重工神戸が出場した。兵庫教員団は、今年こそ優勝を目標に参加したが実らず1回戦で敗退、三菱神戸は1回戦で日精樹脂に1-0で勝ったものの2回戦では関東リーグの雄日立水戸と当たり善戦むなしく0-1で敗れた。

▶ 1回戦

兵庫教員 2 { 1-0
1-2
0-0
0-1

山武ハネウエル 3

▶ 2回戦

三菱 0 { 0-0
0-0
0-0
0-1

日立水戸 1

社会人リーグの技術アップを願う

＝第6回兵庫県社会人都市リーグ決勝大会開催に当り＝

過去昭和48年までは、県下社会人登録約180チームが、県協会に統合させた組織の中で1部、2部、3部、4部と分かれて年間の試合を行っていたが、チーム数の拡大に伴う試合運営面で諸問題が発生したので、各都市協会の協力を得て昭和49年に全チームが各都市協会の組織に戻った。その都市協会の優秀チームが、県下社会人中央大会と称して大会を開催して早や6年目を迎える。

今年は県下社会人登録242チームの中から25チームによって試合が展開されているが、1回戦はやはり登録チームが100を超える神戸代表が強く9チームの内8チームまでが勝利をおさめ2回戦のシードチームと対戦した。ベスト8には神戸(4)尼崎(2)淡路(1)東播(1)と進

出してきたが、準決勝、敗者復活戦により12月9日時点で、鐘化高砂(東播)三洋電機洲本(淡路)明倫クラブ(尼崎)KFCユース(神戸)の4チームが決勝トーナメントに進出した。

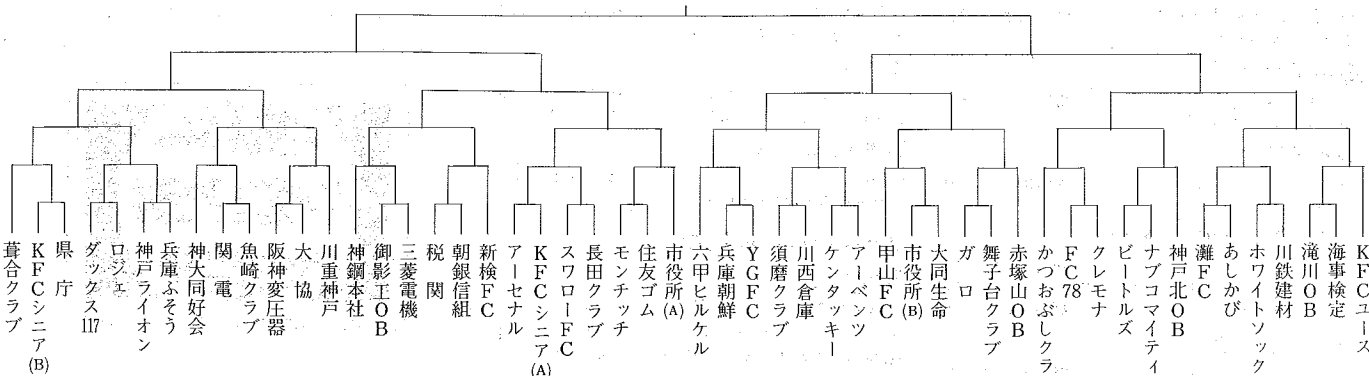
今大会途中であるが試合経過をふりかえるに県下社会人の技術レベルは地域格差が大なり小なりでいるようであるがやはり他府県にくらべると全般的に低いと思われる。

関西リーグに所属する三菱重工神戸、新日鉄広畑、兵庫教員団と県リーグ8チームの差もだんだん広がり、県リーグと都市リーグ代表チームとの差もあるように思われる。近々技術向上の具体策を技術委員会を通じてぜひ考えていかなければならない。(県協会河北)

社会人リーグカップ組合せ決まる

12月13日、神戸社会人運営会議が開催され市社会人リーグ選手権大会の組合せが決定した。試合日程、グラウンドについては、1月11日の社会人委員会で決定される予定である。なお、運営会議では学校のグラウンドを借

用する場合、特にタバコ、空カン、車などのことについて強い要望がなされた。社会人としてのモラルを保持するようサッカーを愛する我々はゴミのあとかたづけも、十分すぎるぐらいやろうではありませんか。



三菱重工神戸

3年振りに全国大会に参加した三菱神戸は1回戦に国体で京都代表を破った北信越代表の日精樹脂と対戦した。最初から激しく攻めて三菱のペースをつくり、前半8分古賀の大きなセンターリングを大和が頭で折り返したボールを板垣が走り込んでシュートを決め先行した。その後も桑田らの激しい守備で相手にシュートチャンスを与えず1-0で第1戦をものにした。2回戦は、関東リーグの雄日

立水戸と対戦し、H・Bの前田、岡中らがよく前線に出て再三、再四のチャンスをつかんだが実らぬまま0-0で延長戦にもつれこんだ。後半終了間際C・F大和が右腕脱臼で退場するという不運があり、延長後半終了前左から右に大きく振られた後、G・Kの出鼻を外すテキサスシュートがゴール隅に決まり涙をのんだ。(三菱神戸監督岡村敬)

兵庫教員団

兵庫教員の1回戦の相手は、山武ハネウエルである。グラウンドコンディションは、前日の雨が降り止んだが、グラウンド半分は泥沼、あとの半分は乾いてかたい状態であった。前半風上をとってキックアンドラッシュでバックスの背後にボールをおとし、ウィングを走らせる意図で一方的に攻めた。何回もチャンスを逃したあと20分やっとドリブルシュートを菊岡が決めリードした。その後も猛攻したが点に結びつかず前半を終了した。

後半、グラウンドは思いのほか泥沼になっており足をとられ、バックスはボールつなぎが極端に悪くなりパスミスが多くなり前半とは逆に攻められる時間が多かった。両サイドから早めにボール前にロビングをあげられ何とかクリアするがまた攻められるという状態が続いた。10分、相手ハーフにドリブルでつかかけられバックスがさがりすぎたところをバックスの前でロングシュートをうたれ、1-1の同点となった。28分、全く同じ形で決められ逆転された。その後必死の攻撃をみせた教員は残り5分にコーナーキックのこぼれ玉を市川が押し込んで同点とした。延長に入り一進一退のゲーム展開が続いたが、後半フリーキックからゴール前にあげられたボールをクリアーしきれず、こぼれ玉をヘッドで押し込まれた。

今大会は、前回2位ということで優勝を目標にして大会2日前から栃木県矢板市に乗り込んでチームコンディションは良い方であったが、勤務の都合上参加できない選手もありベストメンバーを組めなかったのが心残りである。(兵庫教員団監督岡本隆英)